

株式会社 Sassor

代表取締役 石橋 秀一

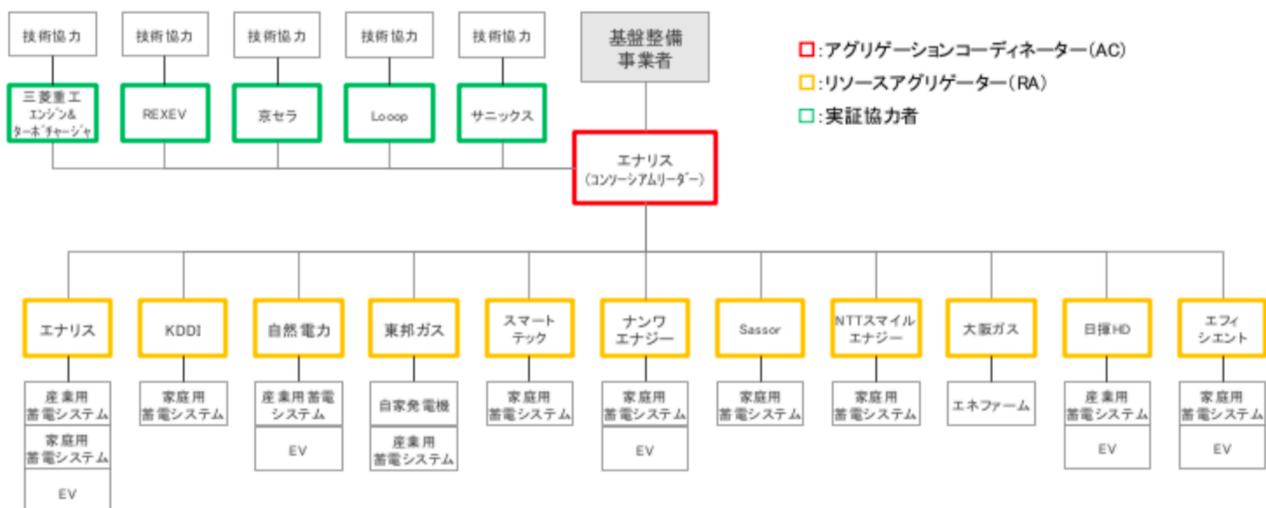
株式会社 Sassor は、経済産業省「令和3年度分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業」に参画し、AIを用いた蓄電池制御の高度化を実施します

株式会社 Sassor（本社：東京都目黒区、代表：石橋秀一）は、この度、経済産業省が実施する「令和3年度分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業」（以下 本実証事業）に採択されました。

Sassor は創業以来、電力センサーの開発、エネルギーデータの分析、蓄電池等の最適制御 AI などエネルギー関連サービスを展開してきました。また、昨年度は「バーチャルパワープラント構築実証事業」へ参画し、需給調整市場を見据えた実証を実施しました。今年度は昨年度の実証結果を踏まえ、さらなる蓄電池リソースの制御技術の高度化を目指し、本実証事業を通してIoT/AI技術の開発と検証を行ってまいります。

本実証事業では、株式会社エナリス（代表取締役社長：都築実宏、以下「エナリス」）を幹事企業とするコンソーシアムに参画し、複数の蓄電池をエネルギーリソースとして、供給力実証、需給調整市場における一次調整力実証、三次調整力実証を実施します。

【ご参考】コンソーシアム実施体制図



■主な実証内容

(1)調整力実証

需給調整市場にてすでに開設されている三次調整力②と将来的に開設が予定されている三次調整力①、一次調整力相当の実証を行います。

(2)供給力実証

市場の時間帯値差を考慮し、蓄電池を利用してより経済的に電力を調達する手法の検証を行います。

(3)蓄電池の最適な制御手法の検証

弊社サービスであるエネルギーリソース最適制御 AI「ENES」^{※1}の技術を活用し、世帯の特徴や設備の特性を考慮し、各用途に応じて経済的に最適となる制御手法の開発とその検証を行います。

※1 蓄電池、電気給湯器、電気自動車等のエネルギーリソースを AI の技術を用いて経済的に最適に制御するサービス。(https://sassor.com/enes/)

■今後の展望

私たちは IoT/AI の技術を用いて、エネルギーとの新たな関係をデザインして参ります。カーボンニュートラルに向けて、蓄電池や EV などのエネルギーリソースはますます重要な存在になり、それらを活用した様々なサービスが今後展開されていきます。本実証では、エネルギーリソースを用いた VPP の取り組みが主な内容となりますが、IoT と AI の力を用いることで新たな価値を創出すべく、数年先を見据えて本実証事業に取り組んで参りたいと考えております。

【Sassor 会社概要】

会社名	： 株式会社 Sassor (サッソー)
代表取締役	： 石橋 秀一 (いしばし しゅういち)
取締役 共同創業者	： 宮内 隆行 (みやうち たかゆき)
社外取締役	： 造田 洋典 (ぞうだ ひろのり)
設 立	： 2010 年 9 月 30 日
所在地	： 東京都目黒区上目黒 2 丁目 10-4
URL	： https://www.sassor.com
事業内容	： IoT/AI サービスの開発・提供

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 Sassor (サッソー)

担当：矢嶋

お問合せ先 (E-mail) : sales@sassor.com